

市民と小山田市長が 直接対話

第2回元気づくり会議「市長と語ろう」開催

10月4日に中央公民館で、元気な十和田市づくりについて考える元気づくり会議「市長と語ろう」が開催されました。

今回で2回目となる会議では、「生活者起点のまちづくり」と題して、三重県商工会議所連合会専務理事の井ノ口輔胖さんによる基調講演やグループ討議としてワークショップ形式による意見交換が行われました。

■「生活者起点のまちづくり」

三重県商工会議所連合会専務理事
井ノ口輔胖さん

井ノ口さんは、これまでの三重県庁で取り組んだ行政改革の実績や手法、新しい政策・事業展開の仕方などについて講演しました。

「生活者起点」をキーワードに「分権自立・公開参画・簡素効率」の3つの視点を強調しました。

改革のための準備として職員意識改革をすることの重要性を説き、行政サービスを分かりやすく説明す



井ノ口 輔胖さん

ることを心がけ、ヤル気を持って改革に努める姿勢などを説明。十和田市のまちづくりに対しては、市民と行政が協働でまちづくりをすることが必要であり、市は情報公開をし、子や孫の代まで誇りを持てるまちづくりを遂行して欲しいと話していました。

■4つのテーマで意見交換会

第1回目の会議の意見を踏まえ、66人の参加者が4つのテーマ「産業・経済の振興」「教育・文化の振興」「保健・医療・福祉の充実」「まちづくり（市民活動・交流・環境等）」の推進に分かれ、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

「産業・経済の振興」グループでは、「十和田の名物・特産物があるのに売り込みやPRが足りない」

「現代美術館の入館者が2万人いるのに、商店街振興につながついていない」などの現状に対する意見が出されました。現状に対する取り組み方法として「流通販売を考えた物産館を造って欲しい」「現代美術館と新渡戸記念館が連携した観光の取り組み」が重要であると話し合われました。

また、「教育・文化の振興」グループでは、年代を超えて集まれる場所が不足している現状を踏まえ、「子どもや高齢者が集える場所作りとして、小学校や公民館を活用する」などの意見がありました。

今回の第3回元気づくり会議では、それぞれのテーマごとに意見を発表し、小山田市長が市民と意見交換をする予定です。



自由な意見交換が行われました

第3回元気づくり会議「市長と語ろう」の意見交換会を次のとおり開催します。

どなたでも観覧できますので多数ご参加ください。

とき 11月8日(日)

午後1時～4時

ところ 中央公民館

問い合わせ先 生活環境課

(☎) 51111内線222

十和田市ホームページ携帯サイトをみることができます

携帯電話でバーコードを読み取るか携帯サイトアドレスを直接入力してください。

携帯サイトアドレス

<http://www.city.towada.lg.jp/m/>

